

696th ASRC Seminar

Date: Wednesday, October 18, 14:00 ~

Location: Room 103, ASRC bldg.

Speaker: Prof. Hirokazu Tamura
(Tohoku University)

Title: J-PARCでのストレンジネス核物理の展望

Abstract: 原子核物理をストレンジクォークを含むように拡張したストレンジネス核物理は、核力の起源、高密度核物質の性質、核内核子の性質、多様な核構造の理解、といった核物理の本質的問題に新しい光を当てることができる。

これまでに、KEK-PSやJ-PARCでのハドロンビーム実験をはじめとする様々な実験研究と、多方面からの理論研究が行われ、特にハイペロンを含むバリオン間力の研究で多くの成果が得られてきた。

今後は、ハイペロン核子散乱実験や様々なハイパー核の高精度分光実験を通して、自由空間および核物質中でのバリオン間力を定量的に調べて、核力(バリオン間力)の深い理解と、「中性子星のハイペロンパズル」に代表される高密度核物質の謎の解明につなげたいと考えている。また、ハイパー核の高精度実験から、核内バリオンの性質変化を調べる研究も進めたい。

J-PARCハドロン施設は、こうした研究を行う上で特に適した施設だが、より一層研究を発展させるために、ハドロン施設の拡張、さらに重イオン加速の実現を期待している。

なお、今回のセミナーは、第65回「原子核ハドロン物理セミナー」
を兼ねております。セミナー内容は

http://silver.j-parc.jp/hadron/hadron_seminar/index.html
でご覧になれます。

<Contact>

Kiyoshi Tanida (81-5361)

Advanced Science Research Center